共生圏PF事業 事務局打合せ

□事務局打合せ

- 1. 中部地方環境事務所挨拶(今年度のPF事業について等)
- 2. 事務局確認(事業のスケジュール、成果物など)
- 3. PFの取組の現状/今年度の取組・展開
 - 今年度のスケジュール予定
 - どんな「事業」を実施するか・実施したいか
 - 役割分担、「事業」の関係者とは、誰を巻き込む必要があるか
 - 上記で問題点は?
- 4. EPO関連の実施事項として
 - ■「意見交換会」の実施タイミング、内容について
 - EPO中部主催・経済勉強会について
- 5. 今後の予定(次回事務局打合せの設定)

事業の「提出物4点セット」について

① 地域版マンダラ

▶ いわゆる「ローカルSDGs(自分たちのSDGs)」をできるだけ多くのステークホルダーでディスカッション(共有)しながら創る。

2 ステークホルダーリスト

プラットフォームの構成員、取組・地域の関係者、これから関わってほしい人・組織などのリストをつくり、それぞれの役割や関わり方の見通しを整理する。

③ 成果指標シート

▶ この事業によって達成したいと考える成果の指標(短期・長期目標)を設定する。 加えて、「近々に必ず達成できる・してみせること」を実行して、事業のPR材料にする。

4 コアとなる事業概要



11月末頃に中間報告を提出、2月に最終報告を提出

スケジュール・進め方等について

成果報告会

プラットフォーム 事務局の留意事項等 4月 ヒアリング(EPO実施) 第2回事務局打合せ 第2回事務局打合せの確認事項 5月 提出物4点セット作成の見通し ● スケジュール(催事、意見交換会) 6月 全国キックオフミーティング(6/1・6/2) 3月の情報交換 PF個別に 経済会合 意見交換 会に発表する具 支援 会の開催 (基盤強化 体的な「成果」づ M)の開催 くりを目指す (9月) · 意見交換会(PF主催、EPO支援) **TTT** 4点セットの作成 事業のタネ (4点セットの一 11月 中間報告の提出 中間報告提出 4点セット 「成果」 わかりやすい に指摘事 12月 中間報告会 づくり 目標/成果・効 項を反映 成果品4点セット提出 支援者・仲間を 2月 成果品の最終提出 得やすくする 3月

3

PFとして成果、今後の展望等を発表

事業の環境省側の関係者とその役割

環境省大臣官房 環境計画課

■ PF事業の全国事務局

● <u>関係イベント</u>等の主催者→関連行事の連絡が受託 者から各PFにメール配信される。

受託者(コンサル等) 【未決定】

- 経費・精算関係の連絡、関係書類の提出は受託者であり、キックオフ(6/1-2)時に説明あり。
- 提出物(4点セット等)の提出先も受託者となる。

環境省 中部地方環境事務所

- □ 中部エリアのPFに対する「支援」事務局
- PFが事業の進める際に必要な支援を行う。

【過去のPF等への支援例】

- 勉強会等で「地域循環共生圏」について概説
- 行政(自治体)等への協力依頼、事業の説明対応

EPO中部 (環境省中部環境パー トナーシップオフィス)

- 地域のなりたい未来像、地域ビジネスなどをテーマにしたワークショップ(ワーキング)の企画・運営・進行
- PFの取組による地域循環共生圏・SDGsへの貢献性を明示した資料の作成 (「活動見える化プログラム」を意見交換会で活用)
- そのほかSDGsワークショップ、ファンドレイジング勉強会なども実施

その他打合せ事項として

■ 意見交換会の開催

- PF側:主催者、及び出席者へ参加呼びかけ(会場等をEPOへ紹介)
- EPO側:会場費等支払、必要な運営支援(ワークショップ/ワーキングの準備・運営など)
- 意見交換会で何を行うか?(事業支援事務局/本省はステークホルダーで「地域のなりたい未来像」を抽出するワーキングの実施を想定。実際の実施内容はPF側のスケジュール、取組内容等々によって異なる。)
- ▶ PF事務局で、事業全体のスケジュール展開と合わせて、どんなタイミングで、どんなテーマで実施するかの検討が必要。

■ EPO中部主催の経済勉強会イベント

- 「経済(地域ビジネス)(経営等含む)」分野をテーマにした勉強会等をEPOが開催予定である。(具体の要件:財務局、経済団体等との連携・登壇など)
- もしPF側にニーズがあれば、PFの活動エリア、希望のテーマで企画を予定。
- ▶ PF事務局で検討いただき、意向等あれば次回打合せ時に教示いただきたい。

次回打合せについて

- ●次回打合せの日程調整をお願いしたい。
- 次回打合せでの協議事項(予定)
 - 事業展開スケジュール(及び近日の予定など)について
 - ・ 提出物4点セット作成の見通し(方法)について
 - 意見交換会について:意見交換会で行いたいこととは? 開催の日時設定(仮日程でも可)、参加者(プラットフォームのステークホルダーとは?)
 - ▶ 前年度の意見交換会の例:次ページ参照。
 - EPO中部主催・勉強会イベント(財務事務所の協力開催)に対する実施 ニーズ(実施の可否、時期・タイミング、テーマ・プログラムなど)
 - ▶ 前年度の意見交換会の例:次ページ参照。

参考) 『意見交換会』の実施事例

	PF	開催日	EPO進行による「意見交換会」の開催	備考
	小布施 10月 21日		● 定例プロジェクトミーティングに併せて実施。● プロジェクトの我がごと化ワークショップ(活動見える化プログラム活用)を実施。	定例ミーティングの 中で、一つのプロ ジェクトを対象に実 施
2	越前	10月 27日	新駅整備、スマートシティ実現に取り組むうえでの強み(地域資源)・ 弱み(地域課題)の抽出、ステークホルダーの巻き込み方について議 論。	PFの定例会合の中 で実施
0 2 0	郡上	10月 28日	● 地域のなりたい未来像づくり(地域版マンダラを作成するにあたってヒントとするアイデアの抽出)ディスカッションを実施。	PFの第3回勉強会 で実施
年度	尾鷲	11月 5日	 ● PFと誘致企業の意見・情報交流会を実施。 ● 「活動見える化プログラム」を活用して、プロジェクトへの参画による SDGs・地域循環共生圏への貢献性をEPOが概説。 	企業との交流会イベントとして開催
	根羽	10月 14日	● フォレストガーデン構想や流域連携のあり方等をディスカッション。	複数プロジェクトの うちの1プロジェクト 関係者が集合して 実施

参考)意見交換会:PF郡上の場合

郡上市地域循環共生圏勉強会

全4回参加費

地域内で、人、物、お金が回る 仕組みを作って、みんなで、 「持続可能な郡上」を作ろう

対象 郡上市民、郡上市内の企業、郡上市内の団体市役所関係者等、その他、ご興味がある方。

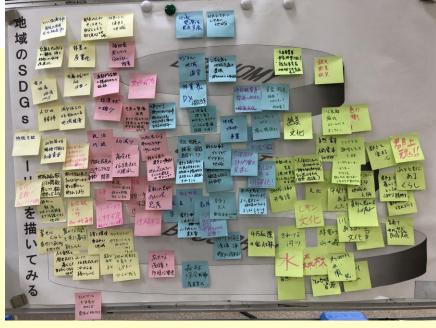
事務局までEmailでお申込みください。 info@gujoenergy.com

コロナ感染対策のため、人数制限があります。 当日の急なご参加は、お断りする場合があります。 ご参加希望の方は、必ず参加申し込みお願いします。 また、録画配信、オンライン配信を希望される方も配 信希望とご連絡ください。

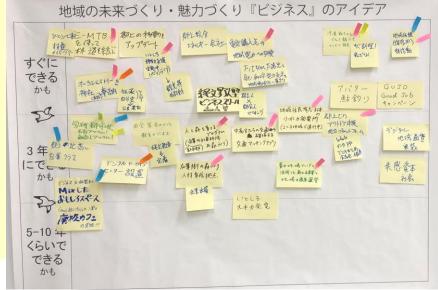
	日時		会場	テーマ
I	8月28日	(金)	総合文化センター	地域循環共生圏って何?
	13:30~16 録画配		多目的ホール	環境省曽山信雄氏等のスピーカーを迎え、地 域への想いや考えを共有する
	9月29日	(火)	白鳥ふれあい 創造館	再生可能エネルギーを見直す
	13:30~10 録画配位		1000000	再生可能エネルギーを地域循環共生圏づくり の資源として見直す
	10月28日	(水)	白鳥ふれあい 創造館	ローカルSDGsをデザインする
	13:30~1 録画配1			郡上市版ローカルSDGsを、ワークショップで デザインする
ĺ	11月25日	(火)	白鳥ふれあい 創造館	地域ビジネスを再考する
	13:30~1 オンライン			地方創生イノベーター <mark>谷中修吾氏</mark> を迎え、地域 ビジネスアイデアをワークショップで創造する

主催:郡上市地域共生圏協議会 協力:環境省EPO中部





4回目

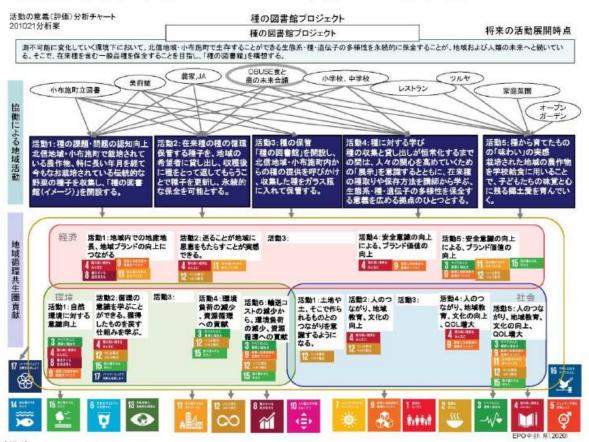


「種の図書館プロジェクト」の「活動見える化」分析を検討する(10/16)

実践している協働取組が、地域循環共生圏やSDGsにどのように貢献しているかを認識するために、「活動見える化」分析を活用し、改めて実施する意義を定義する。

EPO中部「活動見える化プログラム」活用

【意見交換会を開催したことにより得られた成果等】



活動3.「種の保管」の環 境・社会、経済への効果が 定まらず空白だった。

皆でのディスカッションの 結果、これが一番大事で、 北信地域で原種センターは 1か所しかなく、昨年の水 害の被害が影響していたら、 伝統作物の種がし失われる ところであったことが共有 された。

実は、活動3がこのプロジェクトの核となっており、自立分散の保管が重要であることが分かった。

山阴起生

おわせSEAモデル構想ステークホルダー・ミーティング

- (目 的) おわせSEAモデル構想の取組紹介及びSDGs・地域循環共生圏への貢献性の解説 関係事業者からの意見を踏まえ、地域資源・価値の再発見に取り組み、プロジェ クトの更なる推進とステージアップを目指す
- (日 時)令和2年11月5日(木)13:30~16:30
- (参加者)35団体、76名

【意見交換会を開催したことにより得られた成果等】

- おわせSEAモデル構想の進捗状況の共有
 - ✓ 各PJにおける新たなエリアプランと今後の取組
 - ✓ 撤去丁事の進捗状況
- 構想実現に対する意見・課題の共有
 - ✓ 津波浸水域
 - ✓ 大都市商圏からの距離及び足元商圏人口の少なさ
 - ✓ 中核となる事業主体・運営主体が見えない など
- 課題解決に向けたアイデアの共有
 - ✓ 地域資源の積極的な活用・PR (ex.海上釣り堀)
 - ✓ 近隣市町と連携したバイオマスの熱利用
 - ✓ エネルギーの地産地消を軸とした 個々のアイデアの結び付け など
- 今後のステークホルダー巻き込みに係る機運の醸成
- 企業マッチングによる新たな事業の可能性



参考)活動見える化プログラム:おわせSEAモデルプロジェクト

活動の意義(評価)分析チャート 200915分析案

おわせSEAモデル

おわせSEAモデル

2020年4月時点

中部電力の尾鷲三田火力発電所が平成30年12月にて発電設備が廃止され、更なる尾鷲市における産業の空洞化や人口の減少が想定されるとともに、廃止された尾鷲三田火力発 電所の跡地を活用した地域活性化施策の実現が課題となった。そこで尾鷲市、尾鷲商工会議所および中部電力が、尾鷲三田火力発電所の跡地を「新たなエネルギー」と「豊かな自 然のカ」で、産業、観光、市民サービスを融合した拠点として、人々が集い活気あふれる「ふるさと尾鷲」を目指すこととした。

三重大学地域創 中部電力㈱尾鷲創生推進G 尾鷲商工会議所PJ室 尾鷲市:政策調整課、商工観光課、教 生推進チーム 三重県森林組合連合会 育委員会生涯学習課、水産農林課 (株)中部プラン 尾鷲物産㈱ 三重県木材組合連合会 (株)百五総 トサービス 三重県:農林水産部、雇用経 合研究所 (株)養殖屋 森林組合おわせ (株)テクノ中部 (株)三重TLO 済部、地域連携部、水産研

活動1:プロジェクトーS

(市民サービス・文化・観光事業)

広大な発電所跡地をハブとし、既存の資源(海・ 山・川・歴史的遺産など)を活用したアクティビテ ィ事業(カヤック・ウォーキング・サイクリングなど)を推進することにより、域内はもちろん、広域連 携を見据えた上で持続可能な地域循環型社会 の構築を目指す。

8 巻きがいも 9 産業と技術単新の 基準をつくよう

活動2:プロジェクトーE(エネルギー事業)

東紀州地域の森林資源を活用した林業活性化や、 間伐材など未利用材の資源化による森林保全など の林業振興をはじめ、地域の雇用経済に対する多 くの効果が期待される木質バイオマス事業を行うと ともに、木質バイオマス発電から排出される熱やC O2などの未利用エネルギーを有効活用し、脱炭 素社会、循環型社会を目指す。

活動3:プロジェクト-A (農林水産・商工業事業)

広大な火力発電所跡地に、木質バイオマス 発電所から排出される熱エネルギーを活用し た循環型産業として、アグリ事業(植物工場 等)・アクア事業(陸上養殖)を誘致し、地域経 済の活性化や雇用拡大を目指す。

経済

活動1:アクティビティ事業など新規観光産業 の育成による経済活性化と雇用拡大の推進

活動2:地域資源を用いた新産業創出、エネルギー生 産による域外への財流出抑制、雇用の創出

活動3:アグリ事業・アクア事業の創 出、およびそれに伴う雇用の創出

環境

活動1:アクティビティ・ツ アーのための自然資本 保全意識向上、ESD活 用の推進による参加者 の環境保全意識の向上

4 質の高い教育を 4 海の豊かさを 15 Madaide

活動2:間伐材など未 利用木材の活用によ る森林保全、バイオマ ス利用エネルギーの 推進によるCO2削減

活動3:廃熱利用による CO2削減、アクア事業に よる海洋生物資源保護

13 気候変動に 14 海の豊かさを

活動1:交流人口拡大に よる地域文化保全意識 の向上、地域間・関係 SHの連携強化、関係者 を通じた人材育成

17 バートナーショブで

活動2:林業振興や エネルギー産業創出 に伴う雇用創出によ る社会活性化

8 着きがいも 11 住み続けられ 等消成長も 15 寸ぐりを

活動3:アグリ事業・アクア 事業など新産業創出によ る雇用創出に伴う人口流 出抑制

8 着きがいも 11 住み続けられる まちづくりを

17 パートナーシップで 8

協働による地域活動

地

域循

環共生圏貢献

































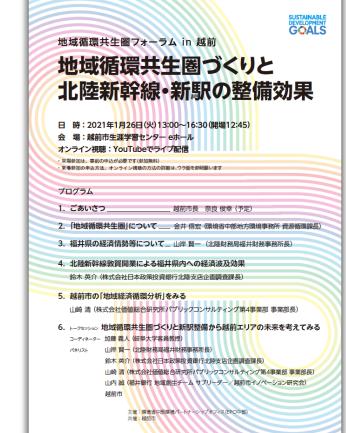
社会



参考)EPO中部主催・勉強会(基盤強化業務)の実施例

	支援·連携	開催日	実施プログラム	備考
2 0	PF郡上	11月 25日 (全1回)	 講演:縄文型SDGsの超絶まちづくり?自然と共存共生する1万年の奥義とは? 谷中 修吾 氏(地方創生イノベータープラットフォーム INSPIRE 代表理事/BBT大学経営学部グローバル経営学科 学科長・教授) 話題提供:岐阜県下における最近の経済情勢について高橋 成守 氏(財務省東海財務局岐阜財務事務所 財務課長) 地域ビジネスのアイデア共有ワーキング「ローカルSDGsの共有と地域ビジネスの創発へ」(※会場参加のみ) 	 PF の 勉 強 会 (第4回目)として実施 オンライン+会場参加(地元住民のみ)で実施
20年度	PF越前	11月 27日 (全1回)	 講演:地域循環共生圏」について/金井信宏氏(環境省中部地方環境事務所資源循環課長) 講演:福井県の経済情勢等について/山岸賢一氏(北陸財務局福井財務事務所長) 講演:北陸新幹線敦賀開業による福井県内への経済波及効果/鈴木英介氏(株式会社日本政策投資銀行北陸支店企画調査課長) 講演:越前市の「地域経済循環分析」をみる/山崎清氏(株式会社価値総合研究所パプブリックコンサルティング第4事業部事業部長) トークセッション「地域循環共生圏づくりと新駅整備から越前エリアの未来を考えてみる」/コーディネーター:加藤義人氏(岐阜大学客員教授) 	オンライン開催・登壇で実施後日 YouTube で限定公開(→関係者で共有)





2020年度実施 勉強会の 開催案内等

第1回 情報交換会

日時: 2020年12月7日(月) 14:00~17:00

オンライン開催:

zoom

https://us02web.zoom.us/j/82531760750?pwd= Nm9IRCt0QW5qMleyUW9USmt4RjZXdz09 ミーティングID: 825 3176 0750 パスコード: 955217



プログラム

話題提供•情報提供

- 三重県におけるSDGsの推進について 三重県戦略企画部企画課長 山本 秀典 氏
- 国立公園満喫プロジェクトとワーケーション 環境省伊勢志摩国立公園管理事務所 国立公園保護管理企画官 内田 清隆 氏
- 地域循環共生圏プラットフォーム事業の採択事例の 紹介(仮)

おわせSEAモデル協議会 濵田 一多朗 氏 (尾鷲市政策調整課 課長補佐兼企画調整係長)

■ 伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の取組 紹介(仮)

伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会 東 友章 氏(志摩自然学校 代表理事)

ワークショップ

- ① 「SDGs、実は身近な世界へのつながり」ワークショップ
- ② 「伊勢志摩へそして地球へ、地元活動のSDGsの芽を考える」 ワークショップ

ファシリテーター:EPO中部 原理史

第2回 情報交換会

日時:

2021年1月18日(月) 14:00~17:00

オンライン開催:

zoom

https://us02web.zoom.us/i/81651791517?p wd=bFlzZQE5U1IraFJVVUJTNVpTZQRSZz09 ミーティングID:816 5179 1517 パスコード:664777



プログラム

話題提供

■ 地方創生(笑いの力で地域を元気に!)とSDGs 吉本興業HD・(株)よしもとエリアアクション https://www.yoshimoto.co.jp/corp/sp/guide/local.html

講演

- ファンドレイジングとは ~共感を集める資金調達の可能性~日本ファンドレイジング協会 https://jfra.je/
- 地域におけるクラウドファンディング活用事例 株式会社CAMPFIRE https://camp-fire.ip/

ワークショップ(ケーススタディ・ワーキング)

■ 共感を集めるためのSDGsストーリーづくり(予定) ファシリテーター: EPO中部 原理史